

主催：一般社団法人 日本循環器病予防学会

共催：公益財団法人 日本心臓財団、動脈硬化予防(研究・行動)啓発センター*

*公益信託日本動脈硬化予防研究基金の助成金による

循環器病予防に取り組む若手研究者のための実践講座



第28回日本循環器病予防セミナー

テーマ：循環器病予防のための基本を踏まえた研究計画力を獲得する

〈受講者募集中〉 疫学研究・臨床研究の基礎と実践を学べる最高のセミナーです！

1988年より毎年1回開催しております「日本循環器病予防セミナー」は、今年で28回目を迎えます。

これまで1000名以上のセミナー修了者が輩出され、臨床、公衆衛生、それぞれの分野で循環器病予防の第一線で活躍し、また後進の指導者として活躍されています。

第28回セミナーでは、日本循環器病予防学会編『循環器病予防ハンドブック』第7版 2014年刊に掲載されております

I. 循環器病健康診査の手技と判定基準

II. 生活習慣の是正

の基本的内容を踏まえて、動脈硬化を中心とした循環器病の予防に関心のある若手研究者が、はじめて取り組む比較的小規模な研究計画を自信をもって立案できるように、体系的な講義とグループワーク演習を通して力をつけることを目的としています。

日本循環器病予防学会の理事・評議員を中心とした循環器病予防第一線で活躍する15名の講師陣による体系的でわかりやすい講義と研究計画立案のグループワーク演習から構成される4泊5日のプログラムです。

循環器病の予防や臨床の分野でこれから研究を企画・実践したい方、疫学研究・臨床研究の基礎を勉強したい方など、奮ってご参加ください！

◆会期： 2015年7月29日(水)～8月2日(日)

◆会場： 新横浜国際ホテル (〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-18-1)

◆定員： 42名

◆参加資格： 動脈硬化・循環器病予防に意欲のある医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士などの医療職、および関連領域の大学院生・研究生などの若手研究者を歓迎。学部学生は原則不可。

◆参加費： 予防学会会員： 50,000円 / 非会員： 100,000円

*参加費には受講費・宿泊費・食費を含む。

*非会員の方でセミナーの参加と同時に入会のお手続きをされる場合は、会員価格となります

◆募集期間： 受付終了 (2015.07.03現在)

◆申込み： 循環器病予防学会ホームページ <http://www.jacd.info> より申込書をダウンロードし必要事項を記入後、事務局まで送付して下さい。

◆講師・チューター

*実行委員長：

水嶋 春朔 横浜市立大学大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 教授

*実行委員：

井上 茂 東京医科大学公衆衛生学講座 教授
上嶋 健治 京都大学医学部附属病院臨床研究総合センターEBM 推進部 教授
大久保孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 主任教授
大西 浩文 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座兼 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 准教授
岡村 智教 慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学 教授
川崎 良 山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 准教授
堤 明純 北里大学医学部 公衆衛生学 教授
中村 好一 自治医科大学公衆衛生学教室 教授
西 信雄 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター センター長
三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授
／同アジア疫学研究センター センター長
村上 義孝 東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授
安村 誠司 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 教授
山科 章 東京医科大学循環器内科 主任教授
吉池 信男 青森県立保健大学健康科学部 教授

*五十音順 敬称略

◆講義：下記 15 コマの動脈硬化を中心とした循環器病予防に関する講義を予定(スケジュールは次ページ)

*疫学研究計画の立て方・すすめ方の基本

1. 疫学研究手法と評価指標、研究倫理指針・・・・・・・・・・ 中村 好一
2. 循環器病予防の疫学研究の動向・・・・・・・・・・ 三浦 克之
3. 臨床研究の動向と企画運営の実際・・・・・・・・・・ 上嶋 健治
4. 研究デザインとサンプルサイズ計算、統計解析・・・・・・・・ 村上 義孝

*動脈硬化・循環器病健康診査の手技と評価の基本

5. 循環器病健康診査の手技と評価（血圧）・・・・・・・・・・ 大久保孝義
6. 循環器病健康診査の手技と評価（脂質）・・・・・・・・・・ 岡村 智教
7. 循環器病健康診査の手技と評価（糖尿病・CKD）・・・・ 大西 浩文
8. 循環器病健康診査の手技と評価（大血管の動脈硬化）・・ 山科 章
9. 循環器病健康診査の手技と評価（眼底の網膜細動脈）・・ 川崎 良

*生活習慣の評価と効果的な介入手法の基本

10. 生活習慣の評価と介入（栄養・肥満）・・・・・・・・・・ 吉池 信男
11. 生活習慣の評価と介入（身体活動）・・・・・・・・・・ 井上 茂
12. 生活習慣の評価と介入（睡眠・ストレス）・・・・・・・・ 堤 明純
13. 高齢者の評価と介入（介護予防）・・・・・・・・・・ 安村 誠司
14. 社会環境の評価と介入・・・・・・・・・・ 西 信雄
15. 予防医学のストラテジーと政策疫学・・・・・・・・・・ 水嶋 春朔

*敬称略

第28回日本循環器病予防セミナー 日程表 2015.07.01現在

	第1日目 7月29日(水)	第2日目 7月30日(木)	第3日目 7月31日(金)	第4日目 8月1日(土)	第5日目 8月2日(日)
8:50		事務局アナウンス	事務局アナウンス	事務局アナウンス	事務局アナウンス
9:00~ 9:50 (50分)		【講義3】(上嶋健治) 臨床研究の動向と企画運営の実際	【講義7】(大西浩文) 循環器疾患健康診査の 手技と評価 (糖尿病・CKD)	【講義11】(堤 明純) 生活習慣と評価と介入 (睡眠・ストレス)	【講義14】(山科 章) 循環器疾患健康診査の 手技と評価(血管)
9:50~ 10:40 (50分)		【講義4】(村上義孝) 研究デザインとサンプル サイズ計算、統計解析	【講義8】(川崎 良) 循環器疾患健康診査の 手技と評価(眼底)	【講義12】(安村誠司) 高齢者の評価と介入 (介護予防)	【講義15】(水嶋春朔) 予防医学のストラテジ ーと政策疫学
(10分)		休憩	休憩	休憩	休憩
10:50~ 11:40 (50分)		【講義5】(大久保孝義) 循環器疾患健康診査の 手技と評価(血圧)	【講義9】(吉池信男) 生活習慣の評価と介入 (栄養・肥満)	【講義13】(西 信雄) 社会環境の評価と介入	閉会式・修了証授与
11:40~ 12:30 (50分)		【講義6】(岡村智教) 循環器疾患健康診査の 手技と評価(脂質)	【講義10】(井上 茂) 生活習慣と評価と介入 (身体活動)	グループワーク⑥ (50分) ※研究計画の作成	
12:30 ~ 13:30 (60分)	受付	ランチ/休憩	【エクスカージョン】 (横浜市金沢区八景島へ バスで移動)	ランチ/休憩	
13:30~ 14:00 (30分)	開会式・全体オリエン テーション	13:30~16:00 グループワーク② (150分) ※研究計画案の検討 (背景、研究仮説、研究 デザイン、対象、サン プルサイズ、評価指標、評 価方法、統計解析など) ※中間発表資料の作成	13:20~14:00 【ランチオンセミナー】 講師：上嶋健治先生 「CKD 患者への介入試 験：臨床試験の考え方」	13:30~16:00 グループワーク⑦ (150分) ※研究計画の発表資料 作成	
14:00~ 14:50 (50分)	【講義1】(中村好一) 疫学手法と評価指標、 研究倫理指針		【エクスカージョン】 金沢区内名所旧跡巡り (120分) ・旧伊藤博文金沢別邸 ・野口英世博士お縁の細 菌検査室(旧横浜海港検 疫所)		
14:50~ 15:40 (50分)	【講義2】(三浦克之) 循環器病予防の疫学研 究の動向				
(20分)	休憩				
16:00~ 16:30 (30分)	グループワーク オリエンテーション (大西浩文)	16:00 中間発表資料 提出、休憩	16:30 ホテル着、休憩	16:00 発表資料提出、 休憩	
16:30~ 18:30 (120分)	グループワーク① (90分) ※テーマ候補絞り込み 18:00 休憩(20分) 18:20★集合写真★	グループワーク 中間発表・討論 (120分)	グループワーク④ (120分) ※研究計画案の作成	グループワーク 発表・討論 (120分)	
18:30 Evening	18:30~19:10 【ウエルカムセミナー】 講師：枘久保修先生 「新たな手法を用いた 生活習慣病予防法」	18:30~19:30 夕食/休憩(60分)	18:30~19:30 夕食/休憩(60分) (講師・チューターは別 会場で会議)	18:30~18:50 休憩(20分) 18:50 ★集合写真★	
	19:10~21:00 ウェルカムパーティー	19:30~22:00 グループワーク③ (150分) ※研究計画案の検討 会場使用 23:00 まで	19:30~22:00 グループワーク⑤ (150分) ※研究計画案の作成 会場使用 23:00 まで	19:00~21:00 フェアウェルパーティ ー	